

アイボルト吊り方 注意点



使用上の注意 (1/2)

※説明は裏面 (2/2) に続きます。

ご使用前に **必ずお読みください**

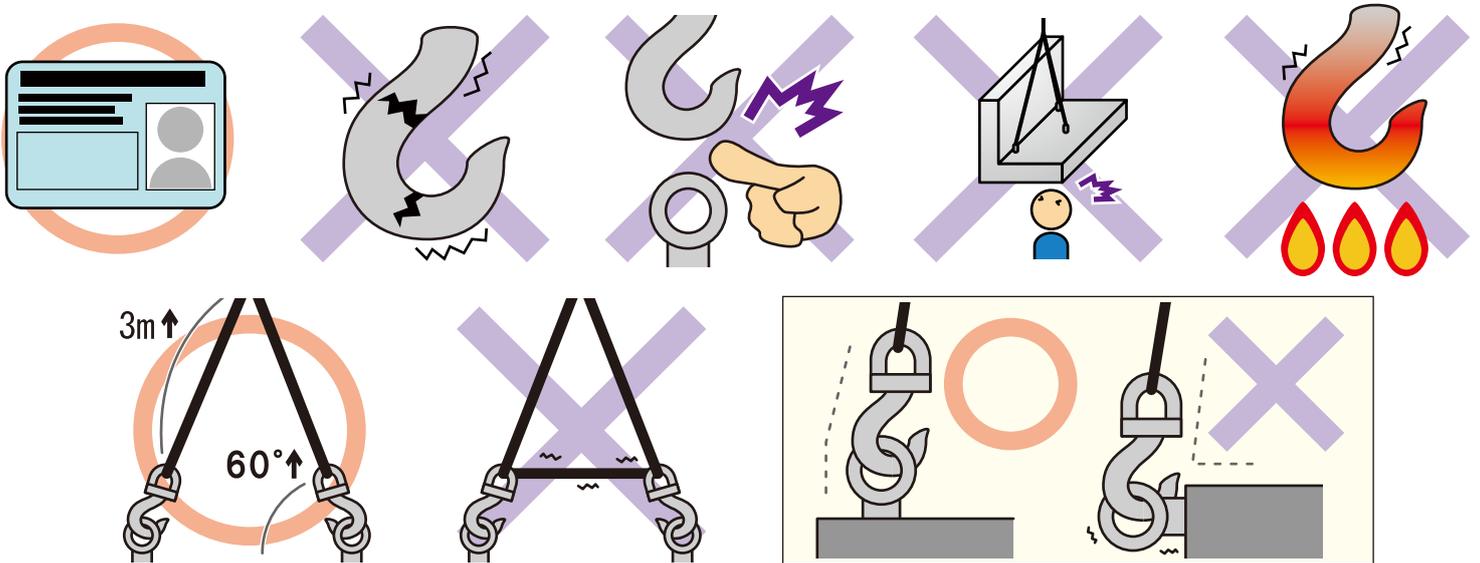
正しい手順や指示に従わなかった場合

死亡事故・重傷 (中軽傷)・物的損害のおそれ

または製品の破損のおそれがあります。必ずお読み頂き、指示に従ってください。

安全取扱

- クレーン操作・玉掛け作業を **法定資格のない人は絶対にしないでください**。
- 吊り上げの際に **吊り荷の落下・転倒範囲内に立ち入らないでください**。
- アイボルトを **製品の運搬及び据付作業以外には使用しないでください**。
- アイボルトを **最大吊り荷重以上の製品には絶対に使用しないでください**。



作業前準備・確認

異常のあるものは使用しない

- 吊上治具の変形・亀裂・溶接亀裂・摩擦等、異常のあるものは使用しないでください。
- 吊りワイヤー・シャックル等に摩擦・亀裂等ないことを確認してください。
- 吊りワイヤー・シャックル等に十分な強度があることを確認してください。

吊上治具取付

身体・製品の接触時に注意

- 吊上治具の取付時に手・指などを挟まない様に注意してください。
- 吊上治具セット時に製品を破損させない様に注意してください。

製品吊り上げ

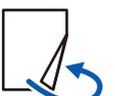
安全な作業位置、正しい扱い方で
安全に製品を吊り上げる

- 吊上げは製品が落下しても支障のない位置で行い、吊上治具側に立たないでください。
- 吊り上げは角度60度・吊りワイヤー長さ3m以上を推奨しています。
- 横吊り、引き起こしはしないでください。
- 耐荷重は各道具で異なります。各耐荷重を確認してください。
- 吊りワイヤーを多数のリングに通さないでください。
- 製品や吊上治具に衝撃荷重が働くようなクレーン操作はしないでください。
- 製品の吊上げには垂直に昇降するクレーンを使用してください。
- 吊上げ状態は、必要最低限の時間にしてください。

保守・点検・保管

改造や追加加工を行わない

- 吊上治具の改造または追加加工・溶接・加熱は絶対に行わないでください。
- 吊上治具の分解・部品交換・修理は絶対に行わないでください。

使用手順やご不明な点は営業所または
営業担当までお問い合わせください。引き続き裏面も
お読みください。

※各吊り具の取扱説明書は別途にありますので、必ず一緒にお読みください。

アイボルト吊り方 注意点



使用上の注意 (2/2)

※説明は表面(1/2)の続きになります。

ご使用前に **必ずお読みください**

写真付き説明

良い例/悪い例の2パターンを掲載します。
参考としてご覧ください。

吊り方 正しい箇所でアイボルトを使用して吊り上げてください。

○ **良い例** 吊り用インサートで
アイボルトを使用して吊り上げ



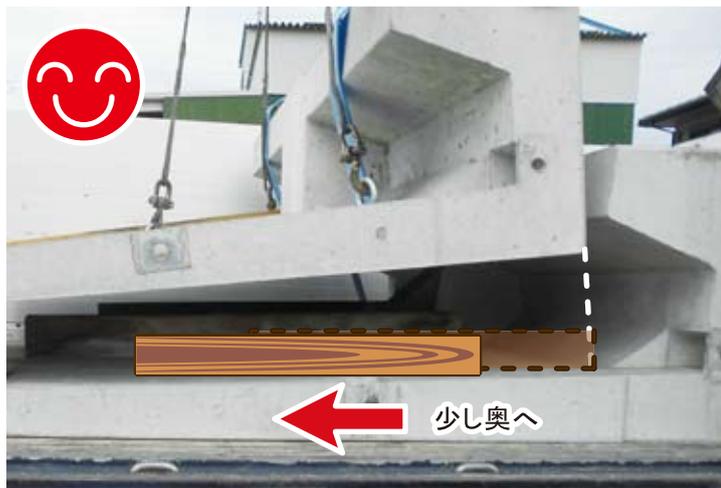
× **悪い例** 吊り用インサート以外で
直接釣り具を使用して吊り上げ



STOP 直接吊り具で吊ると
製品が欠けてしまう
ことがあります。

角材 製品の少し奥に、角材を入れてください。

○ **良い例** 角材を少し奥に置く



× **悪い例** 製品手前の角に合わせて置く



STOP 製品の手前の角に合わせて角材を置くと
製品が欠けてしまう事が
あります。
端に置きすぎないように
ご注意ください。

吊り方を間違えると製品の破損、
または怪我や事後等のおそれ
があります。

必ず本説明書の両面をお読み頂き
指示に従ってください。




**表面の説明も
お読みください。**
(※こちらは裏面です)

※各吊り具の取扱説明書は別途にありますので、必ず一緒にお読みください。